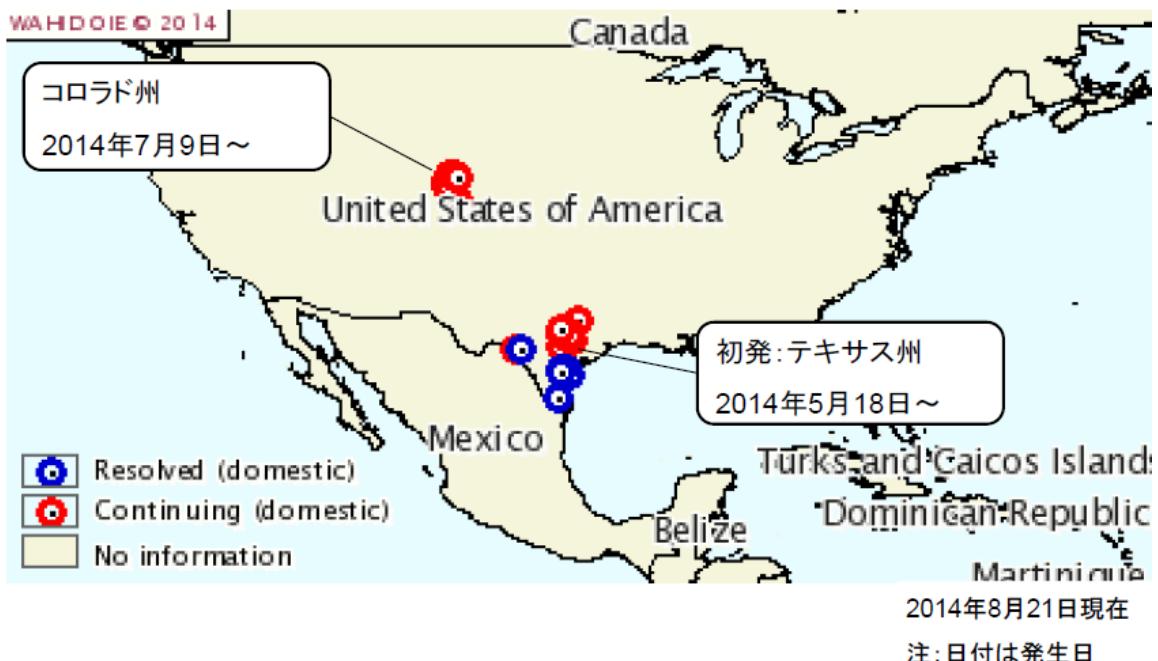


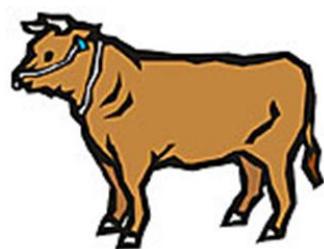
アメリカで水胞性口炎が発生しています

- ◆ 本年5月下旬にテキサス州において、馬での発生が確認されました。
- ◆ その後、コロラド州へ発生が拡大し、両州の186農場において、馬227頭および牛10頭で感染が報告されています。
(8月21日現在)

【参考情報】米国における水胞性口炎の発生状況（2014年5月～）



2005年以降は北米、中米、南米のみで発生しています。



水胞性口炎とは？

▼牛、豚、馬などがかかる法定伝染病で、
発熱、よだれ、
口やひづめ、鼻の水ぶくれが特徴です。
これらの症状は口蹄疫によく似ています。



▼感染は吸血昆虫(ダニ、サシバエ、蚊、ブヨ等)によって広がります。
発生時には感染動物や汚染物との接触でも広がります。



日本では発生したことはありません。

農場へウイルスを侵入させないポイント



- ▼ 自分の農場に入る際も、靴、持ち込むものの消毒の徹底
- ▼ 外部からの人や車を農場に入れない
- ▼ 農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒
- ▼ 踏込消毒槽、専用の作業着及び長靴を設置
- ▼ 発生国に滞在し、ウイルスを伝播する可能性のある人や発生国から輸入された物を農場に近づけない。渡航は控える。
- ▼ 家畜の導入は、状況を見据えて、より慎重に
(導入した場合は、隔離観察を徹底)等

毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp